四十二

立案 昭和六年三月廿一日
決裁 昭和 年 月 日

宗秩寮總裁

爵位課長

宮内事務官

故勲四等鈴木三郎助位記追賜ノ件

昭和六年三月廿一日裁可 三月廿九日達
臺帳記入四月一日 官報報告濟

宮内省

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

宮内省

故勲四等鈴木三郎助位記追賜ノ件

右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和六年三月三十一日

内閣總理大臣濱口雄幸

343

内

閣

起案 昭和六年三月三日
裁可 昭和六年三月三日
決定 昭和 年 月 日
施行 昭和 年 月 日

内閣總理大臣 了

内閣書記官長

内閣書記官

故勲四等鈴木三郎助ハ別紙商工遞信兩大臣稟請ノ通功績顯著ナル者ニ候處本月二十九日死去ノ趣ニ付特旨ヲ以テ左ノ通位記追賜ノ件上奏相成然ルヘシ

内閣

特旨ヲ以テ位記ヲ追賜セラル

故勲四等 鈴木三郎助

叙從五位

三月二十九日付

勲四等 鈴木三郎助

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

故

右者資性温厚篤實夙ニ我邦産業振興ニ努メ國産ヲ振興シ輸入ノ防遏ニ寄與スル所アリ又塩化加里工業ノ産業上及軍事上重要缺クヘカラサルモノナルヲ識リ萬難ヲ排シテ之カ製造ニ着手シ智利硝石ト交換分解ニ依リ火藥原料タル硝石ノ製造ニ成功シ日清日露ノ両役ニ頻ル大ナル貢献ヲ為セリ殊ニ日露戦役ニ際シテハ危險ノ為メ何人モ敢行スルモノナカリシ智利硝石ノ輸入ニ献身的ノ努力ヲナシ之カ輸入ヲ遂行シ軍事上欠ク補スル所多大ナリ又明治四十一年合名會社鈴木商店ヲ創立シ理学博士池田菊苗ノ発明ニ係ル「グルタミン酸」ヲ主要成分トセル調味料ノ製造ヲ工業化シ大量生産ニ依ル製造ヲ企圖シ「味の素」ト命名シ製造ヲ初メ苦辛経營全力ヲ傾注シテ事業ノ發展ニ努メ内外ニ販路ヲ擴メ事業ノ基礎愈鞏固トナリ今ヤ年産一千萬圓ヲ超ユルノ盛況ヲ見ルニ至レリ實ニ同人ノ如キハ發明ノ実施ニ貢献スル所多大ナリ或ハ又大正六年東信電気株式会社ヲ

創立シ水力電気事業ヲ起シ今ヤ其ノ発電力実ニ十六萬キロワットニ達シ吾邦産業界ニ多大ノ貢献ヲ為シ而シテ数年前ヨリ電力過剰ノ状態現ハレヤ之カ消化方法ニ日夜苦心シ財界沈衰ノ際新企業ノ計画ヲナスモノナキニシ昭和肥料株式會社ヲ創立シ石灰窒素及硫酸アムモニア製造工場ヲ建設シ以テ之ニ依リ余剰電力十二萬キロワットヲ消化スルノ途ヲ開キ一面低廉ナル肥料ヲ供給シテ農村ノ振興ニ資スル等多年我邦化学工業並電氣事業ノ興隆発達ニ貢献シタル效績顕著ナル者ニ候處病革リ遂ニ本月廿九日死亡致候ニ付テハ生前ノ功勞ヲ録セラレ相當位階追賜ノ御詮議相成度別紙神奈川縣知事具申書相添ヘ此段稟請候也

昭和六年三月三十日

商工大臣 俵孫一

逓信大臣 小泉又次郎

内閣總理大臣濱口雄幸殿

六宮秘書官

特旨叙位之儀ニ付上申

本籍地　神奈川縣三浦郡葉山町堀内百六十番地
現住地　東京市京橋區南傳馬町一丁目十二番地

叙正五位　　鈴木三郎助　　慶應三年十二月二十七日生

右者夙ニ沃度ノ創製ニ従事シ同業組合ヲ起シテ組合長ニ推サレ刻苦精勵シテ對外的ニ成功スル所アリ之ニ各種ノ化學工業ヲ併セテ經營努力スル所多ク永年斯業ノ發達ニ盡瘁シ其公益ヲ興セシ成績洵ニ顯著ニシテ本邦ニ於ケル沃度製造業ニ従事セル嚆矢ナリ殊ニ又一種ノ調味料タル「味の素」ノ精製販賣業ニ従事シ會社ヲ組織シテ社長ニ推サレ不屈不撓全力ヲ傾倒シテ盛ニ販路ノ擴張ヲ圖リ事業ノ發展ニ竭クスコト茲ニ二十有餘年今ヤ内外ニ非常ナル稱贊ヲ博シ本邦及支那ハ勿論南洋諸島並ニ南北米ヨリ歐洲大陸ニ及ホシ事業ノ基礎愈〻鞏固ト十リ一ヶ年ノ製産額既ニ壹千萬圓以上ニ達セリ是亦全ク同人カ新規

神奈川縣廳

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ナル發明品ヲ國家的事業化シテ之カ實施ノ完成ニ寄與セシ功績實ニ甚大ナルヲ信ス或ハ次度單獨ニテハ外品トノ競爭困難ナル事情ニアリタルヲ以テ其副産物タル塩化加里ヲ利用シテ其ノ短所ヲ補ハント欲シ智利硝石ト交換分解ヲ行ハシメテ硝石ヲ製造スルノ方法ヲ利用シ次度工業ヲ支持スルト同時ニ硝石ハ火藥ノ原料トシテ之ヲ政府ニ納入シ日清日露ノ兩戰ニ頗ル大ナル貢獻ヲナセリ殊ニ日露ノ役ニ於テハ露艦ノ拿捕スル所トナランヲ恐レ何人モ智利硝石ノ輸入ヲ敢行スルモノナカリシニ拘ハラス自ラ進ンテ商船一隻ヲ傭船シテ智利ヨリ直接ニ硝石ヲ輸入シテ之ヲ我陸軍ニ供給シ以テ應急ノ需用ヲ充タシタルカ如キ又其一例ニ過キス或ハ歐洲戰爭ノ勃發スルヤ我國燐寸工業ノ主要原料タル塩酸加里ノ輸入忽チ杜絶シテ同工業ノ危機正ニ目睫ニ迫リ當業者モ亦狼狽シテ策ノ出ツル所ヲ知ラサルニ當リ塩化加里ヲ白金電氣ヲ通シテ電氣分解ヲ行ヒテ塩酸加里ヲ製造シ之ヲ燐寸工業ニ供給セントシ欲シ川崎市及府下大島町ニ工場ヲ建設シテ其製造ヲ開始シタリ當時

めくれず

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

燐寸工業ヲシテ其危機ヲ脱セシメ能ク其命脈ヲ後
日ニ維持セシムルハ其力與テ多大ナルモノアリ或ハ水力
發電ノ甚ダ國家的事業ナルヲ知リ東信電氣株式會
社ヲ起シ挺身努力ノ結果電力界ニ一地歩ヲ占ムルニ
至リ今ヤ其資本金額四千參百貳拾五萬圓ニ達シ
發電量實ニ拾六萬「キロ」ヲ算スルニ至レリ其他常ニ
公益團體及教育、救濟、社會事業等ニ金品ヲ寄
附セシコト前後三十餘萬圓ニ達セリ同人カ四十餘
年ノ間實業ニ勵精奮闘シ殊ニ我國産業貿易
ノ發展、國産奬勵上ニ貢獻シ以テ世界的經濟
上ニ裨益セル勞効極メテ偉大ナルモノ有之候處今
回病氣危篤ニ陥リ遂ニ本月廿九日午後四時五分死
去致候ニ就テハ特旨ヲ以テ頭書ノ通叙位相成候
ハヽ獨リ同人ノ光榮ナルノミナラス實業奬勵上ニ尊
ホス聖恩ノ優渥ナルニ感激スル所洵ニ多大ナル儀
ト被存候ニ付此際特別ノ御詮議相成候樣致度
別紙事績書、履歴書相添ヘ此段及上申候也

昭和六年三月三十日

神奈川縣知事山縣治郎

神奈川縣廳

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

商工大臣 侯爵 孫 一殿

遞信大臣 小泉又次郎殿

神奈川縣廳

350

記

本籍　神奈川縣三浦郡葉山町堀内百六十番地平民

現住所　東京市京橋區京橋一丁目六番地一

鈴木三郎助

慶應參年拾貳月貳拾七日生

一、事蹟

自分ハ幼名ヲ泰助ト呼ヒ先代三郎助ノ長男トシテ本籍地ニ生ル亡父ハ米穀酒類ノ間屋ヲ營ミシカ後其遺業ヲ繼キタルモ一半鳴ノ憲村ニ一小商估タルニ甘スル能ハサリシト性來深ク工業ニ趣味ヲ有シタルトニヨリ勃ニ米穀酒類ニ代ルニ適當ナル工業モアランカト絶ヘス物色シツツアリタリシ際偶々沃度ハ海草ヨリ製造シ得ルモノナルコトヲ聞クヤ若シ其製法ヲ完成スルコトヲ得ハ單ニ自己一個ノ利害問題ニ止マラス正ニ國家產業ニ一新面ヲ開クモノナルコトヲ確信シ之レカ製造ヲ開始セント欲セシモ當時其製法ヲ知レルモノ寡ク師ト仰クヘキ人モナカリシカトモ一意所信ノ貫徹ニ邁進シテ只僅カニ存セル文獻ヲ賴ミテ實驗ニ從事シ幾度カ試ミテ幾度カ失敗ヲ重ネタルモ苦心慘憺研究ノ結果終ニ其製法ヲ成就セシメ得ルニ及ンテ明治二十年神奈川縣葉山ノ地ニ微々タル工場ヲ建設シ店舖ヲ東京ニ開クニ至レリ然レトモ資金固ヨリ豐カナラサルノミナラス我國ニ於ケル沃度ノ供給ハ當時有力ナル外國沃度「トラスト」ノ壓倒スル所トナリ市價ノ騰落一ニ其掌中ニ歸シ他ノ輩肘ヲ許ササルノ地ニ立テリ從テ自分等カ沃度製造ニ稍成功セルヲ見ルヤ萌芽ニ之ヲ芟除セント欲シ非常ナル壓迫ヲ加ヘタルヲ以テ之ト競爭シテ國產沃度ノ販路維持ニハ實ニ名狀スヘカラサル苦心ト努力トヲ要シ事業ノ存立覺束ナキ狀ニ陷リタルヲ以テ深ク之ヲ慨シ孤軍ヲ以テ大敵ニ當ルノ非ヲ悟リ苦心ノ製法ヲ開放シテ隨所ニ沃度工業ヲ起サシメ外品ニ對抗シ一時其跡樂ヲ遑フセル外品ヲ國外ニ驅逐セルノミナラス更ニ進ンテ日本沃度カ海外市場ニ於テ「トラスト」ノ發賣品ト角逐シテ甚シク遜色ナキニ至レリ超テ明治四十一年理學博士池田菊苗氏カ「グルタミン」酸鹽ヲ主要成分トセル調味料ヲ發明セラルルヤ勿ニ顧ヘラク此方法ニシテ能ク工業化セラレ完全ナル製品ヲ得ルニ至ラハ人類ノ幸福ニ寄

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

與スル多大ナルヘキヲ信シタルト且ツ此種ノ事業ヲ工業化シテ大規模ノ生産ヲ營ムハ世界ニ於ケル空前ノ試ナリト信シタルヲ以テ之レカ製造販賣ニ從事シ昧の素ト命名シテ獨力事業ノ發展ニ熱中シタリ然レトモ發明其物ハ單ニ調味料ノ人工ニヨリ化學的ニ製造可能ナル事ヲ明ニシタルニ止マリ其發明ノ製造方法ヲ如何ニシテ工業化シ且ツ其製品ヲ如何ニシテ商品化スヘキカハ全ク未解決ニ殘サレタル別個ノ大問題ニ屬スルヲ以テ此衝ニ當ル者ノ前途洵ニ多難ナルヘキハ豫メ想フニ難カラサル所ナリ自分モ思フ此處ニ致ササリシニアラサレトモ難事ノ故ヲ以テ初志ヲ翻スヲ違憚トシ自己ノ運命ヲ擧ケテ之ニ捧ケ明治四十二年工場ヲ神奈川縣逗子ニ建設シテ本發明ノ實施ニ着手シタルモ其遂行ハ豫想以上ノ困難ヲ極メ殊ニ我國ニ於テ創始セラレタル工業ナルヲ以テ範ヲ示スヘキ先進ノ工場モ技術モ共ニ存セサリシカ故ニ其苦心筆紙ニ盡シ得ス一時ハ殆ント手ノ下シ難キ窮狀ニ陷リ進退谷マルノ悲境ニ沈倫シタルモ萬難ヲ排シテ研究計畫ヲ進メ一起一伏萬丈ノ波瀾ヲ反覆シタル後漸次有望ノ成蹟ヲ示シタルヲ以テ大正三年十月工場ヲ同縣橘樹郡川崎ニ移シ次テ大正六年六月株式會社鈴木商店ヲ組織シテ經營スルニ至レリ爾來會社モ二回ノ增資ヲ行ヒ現在壹千壹百萬圓（全額拂込濟）ノ資本ト多數ノ從業員トヲ擁シ依然トシテ不斷ノ努力ヲ續ケタル結果今ヤ志初ト略ホ其歩ヲ同フシ海外ニモ年毎ニ其販路ヲ拓キ年產額壹千萬圓ヲ算スルニ至レハ勿論海外ニモ年毎ニ其販路ヲ拓キ年產額壹千萬圓ヲ算スルニ至レリ然レトモ決シテ斯ル小康ニ滿足スルモノニアラス益海外市場ヲ開拓シテ世界的ニ昧の素ノ使用ヲ普及セシメ國產ノ一トシテ指ヲ屈セラルルニ至ル迄ハ自强息マス以テ其本分ヲ全フセント深ク期シツツアルモノナリ

右ノ外水力發電ノ甚タ國家的事業ナルヲ知リ東信電氣株式會社ヲ起シ從身努力ノ結果電力界ニ一地歩ヲ占ムルニ至リ今ヤ其資本金額四千參百貳拾五萬圓ニ達シ發電量實ニ拾六萬「キロ」ヲ算スルニ至レリ

如此水力發電事業モ略ホ其目的ヲ達シ且ツ過剩電力モ漸增ヲ告クルニ至リタルヲ以テ一ハ此過剩電力ノ消化ニ資シ一ハ之レヲ厚生ノ途ニ利用セント欲シ種々研究ノ結果硫酸安母尼亞ノ製造ヲ計畫シ昭和肥料株式會社ヲ設立シテ其目的ノ達成ニ邁進シ今ヤ將ニ其製品ヲ市

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

場ニ送ラントシツツアリ其特長トスル所ハ生產原價ノ低廉ナル點ニ存シ內地倒レノ企種製造會社ニ比スルモ勿論先進獨逸其他ノ生產原價ニ比スルモ一日ノ兄タルヲ得タルヲ以テ輸入品ヲ驅逐シ疲弊セル農村經濟ニ一脈ノ生氣ヲ送ランコトヲ期シテ誤ラサルノ心算ナリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

元來沃度單獨ニテハ外品トノ競爭困難ナル事情ニアリタルヲ以テ其副生物タル鹽化加里（當時ハ未タ肥料トシテノ用途ナカリキ）ヲ利用シテ以テ其短所ヲ補ハントノ欲シ智利硝石ト交換分解ヲ行ハシメテ硝石ヲ製造スルノ方法ヲ利用シ沃度工業ヲ支持スルト仝時ニ硝石ハ火藥ノ原料トシテ之レヲ政府ニ納入シ日清、日露ノ兩戰ニ於ケル大ナル貢獻ヲナシタリト信ス殊ニ日露ノ役ニ於テハ露艦ノ拿捕スル所トナランヲ恐レ何人モ智利硝石ノ輸入ヲ敢行スルモノナカリシニ拘ラス自分ハ君國ノ爲メニ一身ノ利害ヲ捨ツルハ此時ニアリトナシ進ンテ商船一隻ヲ傭船シテ智利ヨリ直接ニ智利硝石ヲ輸入シテ之レヲ我陸軍ニ供給シ以テ應急ノ需用ヲ充シタル如キ又其一例ニ過キス

一、歐洲戰爭ノ勃發スルヤ我國燐寸工業ノ主要原料タル鹽酸加里ノ輸入忽チ杜絶シテ仝工業ノ危機正ニ目睫ニ迫リ當業者モ亦狼狽シテ策ノ出ル所ヲ知ラサルニ當リ自分ハ鹽化加里ヲ白金電極ヲ通シテ電氣分解ヲ行ヒテ鹽酸加里ヲ製造シ之レヲ燐寸工業ニ供給セント欲シ神奈川縣川崎市、東京府下大島町トニ工場ヲ建設シテ直ニ其製造ヲ開始シタリ當時燐寸工業ヲシテ其危機ヲ脫セシメ能ク其命脈ヲ後日ニ維持セシメタルハ自分ノ力與テ多大ナルモノアリト信ス

燐製造ニ於テモ略ホ鹽酸加里ト仝一ノ效果アラシメタルモノナリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

履歷書

本籍地　神奈川縣三浦郡葉山町堀内百六十番地
現住所　東京市京橋區京橋一丁目六番地一

鈴木三郎助
慶應參年拾貳月廿七日生

明治八年五月
一、神奈川縣藤澤在羽鳥村小笠原東陽氏ノ私立耕餘塾ニ入リ漢數學ヲ修ム
明治拾七年參月
一、亡父三郎助ノ遺業ヲ承ケ米穀、酒類販賣業ヲ營ム
明治貳拾年五月
一、沃度製造業ヲ創始シ次テ各種ノ化學工業ヲモ併セテ經營セリ
明治參拾九年
一、關東沃度製造同業組合ヲ組織シ其組合長ニ推薦セラル
明治四拾年五月拾日
一、日本化學工業株式會社ヲ創立シ其專務取締役ニ選任セラル
明治四拾壹年六月
一、合資會社鈴木商店ヲ創立シ其代表社員トナル
大正五年貳月參日
一、明治拾四年拾貳月七日勅定ノ綬賓章ヲ拜受ス
大正五年貳月貳拾五日
一、日本商事株式會社監査役ニ選任セラル
大正六年五月四日
一、財團法人日本工業俱樂部評議員ニ推薦セラル
大正六年六月拾七日
一、株式會社鈴木商店ヲ創立シ社長ニ推薦セラル
大正六年六月參拾日
一、理化學研究所ヘ金壹萬圓ヲ寄附ス
大正六年八月拾八日
一、東信電氣株式會社ヲ創立シ其社長ニ推薦セラル
大正七年五月三日
一、帝國水產救濟會總裁依仁親王殿下ヨリ第一等有功章ヲ拜受ス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

大正七年拾月拾四日

一、大正七年米價騰貴ノ際救濟ノ爲メ金七千五百圓ヲ寄附ス依テ金杯ヲ下賜セラル

大正八年九月拾日

一、工業博覽會評議員ニ推薦セラル

大正八年拾壹月拾壹日

一、勞資協調會設立趣旨ニ賛成シ金壹萬圓ヲ寄附ス

大正九年貳月拾參日

一、神奈川縣三浦郡葉山小學校々舍增築及改築資金トシテ金壹萬圓ヲ寄附ス

大正九年貳月拾五日

一、神奈川縣三浦郡三浦興產會理事ニ選任セラル

大正九年三月八日

一、神奈川縣社團法人匡濟會ニ金壹萬圓ヲ寄附ス

大正九年六月拾六日

一、化學工業協會評議員ニ選任セラル

大正九年七月貳日

一、明治神宮外苑經營ノ事業ヲ賛賛シ金圓ヲ獻納シタル廉ヲ以テ明治神宮奉賛會有功會員ニ列セラレ有功章ヲ贈ラル

大正拾年四月參拾日

一、大日本水產會常議員ニ選任セラル

大正拾年五月貳拾日

一、大正七年九月拾九日勅定ノ紺綬褒章ヲ拜受ス

大正拾年七月拾七日

一、褒賞條例ニヨリ賞勵局ヨリ表彰セラル

大正拾壹年四月拾日

一、東京電燈株式會社取締役ニ選任セラル

大正拾壹年拾月貳拾壹日

一、褒賞條例ニヨリ賞勵局ヨリ表彰セラル

大正拾壹年拾壹月八日

一、東京藥學專門學校改善資金トシテ金五千圓ヲ寄附ス

大正拾壹年拾貳月九日

一、調昧料ノ發明特許實施者トシテ其實施ノ效果卓絶セルモノナルコトヲ帝

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

國發明協會々長男爵阪谷芳郎閣下ニヨリテ表彰セラル

大正十二年二月

一、大和醸造株式會社監査役ニ選任セラル

大正拾貳年九月

一、九月一日大震火災ニ際シ罹災者救助トシテ小麥粉參千五百袋ヲ東京市芝區内及神奈川縣川崎町三ケ町村ニ寄贈ス

大正拾四年七月參日

一、神奈川縣鎌倉町及其附近ニ於ケル神社佛閣修繕資金トシテ金參千圓ヲ寄附ス

大正拾四年七月參日

一、左ノ通リ寄附ス

(一)神奈川縣三浦郡教育會ヘ金五萬圓

(二)同　縣同　郡葉山町教育奬勵基金トシテ金五千圓

(三)同　縣同　郡西浦村教育奬勵基金トシテ金貳千圓

大正拾四年七月參日

一、神奈川縣三浦郡内ニ於ケル孝子、節婦、表彰ノ爲メ金壹千圓ヲ三浦郡長ヲ經テ各自ニ寄贈ス

大正拾四年八月八日

一、第二回化學工業博覽會評議員ヲ委囑セラル

大正拾四年拾壹月

一、千曲川電力株式會社ヲ創立シ其社長ニ推薦セラル

大正拾五年五月貳拾四日

一、日本産業協會評議員ヲ委囑セラル

大正拾五年五月參拾壹日

一、社團法人電氣倶樂部評議員ニ選任セラル

大正拾五年七月　日

一、神奈川縣川崎市川崎河港修築費金拾萬圓ヲ寄附ス

大正拾五年九月拾七日

一、調味料ノ發明實施者トシテ其實施上功勞顯著ナル者ト認メラレ帝國發明協會々長男爵阪谷芳郎閣下ニヨリテ功勞賞ヲ贈ラル

大正拾五年拾月拾八日

一、東京税務監督局管内相續税審査委員ヲ命セラル

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

大正拾五年拾貳月拾參日

一、帝國發明協會評議員ニ選任セラル

昭和貳年五月拾四日

一、化學工業協會評議員ニ再選セラル

昭和貳年六月拾四日

一、褒賞條例ニヨリテ賜ヲ受セシ紺綬褒章ニ附スヘキ銅版ヲ下賜セラル

昭和貳年七月七日

一、內閣ヨリ人口食糧問題調査委員被仰付

昭和貳年七月貳拾壹日

一、帝國發明協會監事ニ選任セラル

昭和貳年七月參拾日

一、神奈川縣消防協會ニ金壹萬圓寄付

昭和貳年拾月貳拾九日

一、多年調味料製造業者トシテ斯業ノ發展ニ資シ我國產業貿易上貢獻尠カラサル功績アルモノト認メラレ日本產業協會總裁伏見宮殿下ニヨリテ表彰セラル

昭和貳年拾月參拾壹日

一、東京府市場合主催發明考案奬勵展覽會ニ味の素出品ニ就キ調查ノ結果調味料トシテ有效ナル點ニ於テ優秀ナルモノト認メラレ推奬狀ヲ受ク

昭和貳年拾壹月五日

一、東京藥學專門學校理事ニ推選セラル

昭和貳年拾貳月八日

一、神奈川縣三浦郡葉山町葉山小學校講堂建設費トシテ金參萬圓寄付

昭和參年壹月貳拾日

一、工學會ヨリ萬國工業會議評議員ニ推選セラル

昭和參年壹月貳拾六日

一、神奈川縣廳ヲ經テ左ノ通寄付ス

一、神奈川縣所在俊基卿遺跡保存會、金五千圓

二、仝　縣体育協會、金貳千五百圓

三、愛國婦人會神奈川縣支部、金壹千圓

四、恩賜財團濟生會神奈川縣支部事業助成團体若草會、金五百圓

五、都市研究會、金壹千圓

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和參年參月拾貳日
一、大禮記念國產振興東京博覽會協賛會、金壹千圓寄付
昭和參年參月拾六日
一、大禮記念國產振興東京博覽會協賛會評議員ニ推選セラル
昭和參年參月參拾壹日
一、神奈川縣三浦郡西浦小學校敷地買收賛トシテ金五千圓寄付
昭和參年五月五日
一、卒先汎度製造業ヲ創始シ吉心經營以テ我汎度製業業ノ基礎ヲ定メ本會會務ニ盡瘁シ勤勞ニ神補セシモノト認メラレ大日本水產會總裁伏見宮殿下ニヨリテ其功勞ヲ表彰セラル
昭和參年五月拾壹日
一、日本赤十字社神奈川縣支部商議員ニ委囑セラル
昭和參年五月參拾日
一、社團法人電氣俱樂部評議員ニ再選セラル
昭和參年六月五日
一、神奈川縣水產會ニ金五百圓ヲ寄付ス
昭和參年六月六日
一、褒章條例ニ依リ會テ拜受セシ紺綬褒章ニ附スヘキ飾版ヲ下賜セラル
昭和參年六月貳拾日
一、東京藥學專門學校設備改善費トシテ金四千參百五拾圓ヲ寄付ス
昭和參年八月拾壹日
一、南米拓殖株式會社取締役ニ選任セラル
昭和參年八月參拾日
一、大禮奉祝博覽會評議員ニ委囑セラル
昭和參年拾月九日
一、大禮記念帝室博物館復興翼賛會へ金參萬圓寄付ス
昭和參年拾壹月拾日
一、勳四等瑞寶章拜受ス
昭和參年拾貳月貳拾日
一、財團法人科學知識普及會、金參千圓寄付
昭和四年壹月拾七日
一、內閣ヨリ商工審議會臨時委員被仰付

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和四年壹月貳拾日
一、神奈川縣三浦郡教育會名譽會員ニ推薦セラル
昭和四年壹月貳拾五日
一、社團法人日本貿易協會評議員ニ推選セラル
昭和四年壹月參拾日
一、財團法人日本工業俱樂部評議員ニ再選セラル
昭和四年五月四日
一、大日本水產會常議員ニ選任セラル
昭和四年五月七日
一、化學工業協會評議員ニ再選セラル
昭和四年五月八日
一、恩賜記念發明奬勵基金トシテ帝國發明協會ヘ金拾萬圓寄附
昭和四年五月貳拾四日
一、日本產業協會評議員ニ委嘱セラル
昭和四年六月貳拾壹日
一、京橋區公會堂建設費トシテ金壹千圓寄附

昭和四年六月貳拾五日
一、京橋區昭和小學校後援會ヘ金五百圓寄付
昭和四年七月參日
一、朝鮮博覽會京城協賛會ヘ金貳千圓寄付
昭和四年七月貳拾九日
一、在淀橋工手學校復興會ヘ金五百圓寄付
昭和四年八月貳拾九日
一、財團法人科學知識普及會評議員ニ推薦セラル
昭和四年九月拾參日
一、芝區役所廳舍設備費及公會堂建築費ヘ金壹千圓寄付
昭和四年九月拾九日
一、昭和大禮記念章拜受
昭和五年貳月拾八日
一、褒章條例ニ依リ曾テ拜受セシ紺綬褒章ニ附スヘキ綬版ヲ下賜セラル
昭和五年八月五日
一、帝國發明協會有功會員ニ推選セラル

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和五年拾貳月貳拾五日

一、第三回化學工業博覽會賛助員ニ委嘱セラル

昭和六年壹月參拾日

一、社團法人日本工業倶楽部評議員ニ再選セラル

右

昭和六年三月

鈴木三郎助

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

丙 三五 (一九七)

一故勲四等鈴木三郎助

右特旨ヲ以テ敍位相成候ニ付位記竝辭令及回送候條傳達方御取計有之度候也

昭和十年三月三十日

宗秩寮總裁子爵仙石政敬

商工大臣

宮内省

362

裏面白紙

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp